
「日本における１年間の感染性心内膜炎症例の疫学調査」に関するお知らせ

このたび、当院で診察を行った患者さんの情報を用いた以下の研究を実施いたします。

本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、カルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

研究の概要について

1. 研究の対象となる方

2023年4月1日から2024年3月31日の期間、国立国際医療センターを受診し、感染性心内膜炎と診断され、入院され検査・治療を実施した患者さんを対象としております。

2. 研究の目的

感染性心内膜炎は人口10万人あたり3-10人と稀な感染症です。

全国の感染症専門医が所属する機関等(当院を含む)に協力を仰ぎ、感染性心内膜炎に罹患された患者さんの情報(年齢、性別や原因菌、治療の実施状況や予後など)を、匿名化された状態で、当研究の基幹病院である埼玉医科大学国際医療センターが収集します。得られた情報は研究実施機関にて共同で解析し、エビデンスの構築を目指します。

3. 研究期間

研究の実施許可日～ 2027年12月31日

4. 利用または提供の開始予定日

病院長の許可後

開始予定日以降も研究への利用停止などのお申し出に対応いたします。

研究に用いる試料・情報について

1. 試料・情報の内容

検査データ、診療記録を用います。

※この研究において、国立国際医療センターで得られた患者さんの情報は、当院の研究責任者である秋山裕太郎が、個人が特定できないように加工した上で管理いたします。そのため、患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

2. 試料・情報の取得方法

感染性心内膜炎と診断された患者さんの検査データおよび診療記録等を用います。

3. 試料・情報を利用する者(研究実施機関)

- ・埼玉医科大学国際医療センター 感染症科感染制御科 光武耕太郎(研究代表者)
- ・東北医科薬科大学 医学部 老年・地域医療学 大原貴裕

- ・埼玉医科大学大学院 医学研究科 生物統計学教室 川崎洋平
- ・埼玉医科大学総合医療センター 感染症科 川村隆之

4. 試料・情報の管理責任者

- ・試料・情報の受領

該当なし

- ・試料・情報の提供

＜提供元機関＞ 【国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター】 理事長 國土典宏

＜提供先機関＞ 【埼玉医科大学国際医療センター】 病院長 佐伯俊昭

5. 試料・情報の提供方法等について

得られた情報は匿名化された状態で、パスワードを付与した電子ファイルにて研究実施機関へメールにて提供します。

お問い合わせについて

ご自身のカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。

ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

○当院における責任者および問い合わせ先

東京都新宿区戸山 1-21-1 国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター

国際感染症センター 秋山裕太郎

03-3202-7181(代表) (月～金 8:30～17:15)

○研究課題名: 日本における 1 年間の感染性心内膜炎症例の疫学調査

○研究代表者: 埼玉医科大学国際医療センター 感染症科感染制御科 光武耕太郎

住所: 〒350-1298 埼玉県日高市 1397-1

電話: 042-984-4111(土日祝日を除く 8:30-17:30)